



日本共産党 北区議会議員

# のの山けん 区政レポート

<https://ken-nonoyama.com/> [mail@ken-nonoyama.com](mailto:mail@ken-nonoyama.com)

No.674 2023.3.8

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は  
お気軽に **090-2156-3510**

## 施設建設(新庁舎)・まちづくり基金に37億円 基金積み増しは必要?

北区議会第1回定例会は3日、本会議を開会し、北区が提出した補正予算を賛成多数で可決しました。

引き続きコロナ禍や物価高騰で区民や中小業者が苦しむ下でも、特別区税が増収となり、財政調整交付金が再算定で増額となるなど、区の財政は堅調な伸びを示しています。

そのため区は、今年度最終となる今回の補正予算で、施設建設基金に新庁舎整備分として27億円、まちづくり基金に10億円の計37億円を新たに積み増す方針を打ち出しました。

これにより今年度末の主要5基金(新年度からは新庁舎整備基金が加わり6基金)の合計は、過去最高の約750億円に



赤羽駅東口で区政報告する、のの山区議

達します。さらに、使いみちが決められておらず、暮らしの応援に活用できる財政調整基金は、年度当初の約138億円にまで減るとの予測を57億円上回り、約195億円まで積み上がることになりました。

新年度予算では、さらに新庁舎整備基金に20億円、まちづくり基金に10億円の30億円を積み増します。

日本共産党北区議員団は、財政に余裕があるなら、積み立てではなく暮らしの応援に回すべきとして、補正予算に反対しました。(のの山けん)

### 日本共産党北区議員団が提案

## 物価高騰対策給付金で暮らし応援を

6日に開かれた予算特別委員会で、総括質疑に立った日本共産党の山崎たい子区議は、北区が積み増している財政調整基金や、まちづくり基金の一部を活用し、非課税世帯及び課税標準額200万円以下の納税者にそれぞれ3万円を支給する、総額約45億円の物価高騰対策給付金を提案しました。区は「現時点において給付金の支給は考えていない」などと答弁しました。(のの山けん)



# 施工者が決定



工場完成予想図(北東方向)

## 2029年度の竣工めざし 今年度から設計・解体工事に着手

東京二十三区清掃一部事務組合は2月28日、北清掃工場建替工事契約における総合評価の結果を、同組合ホームページに公表しました。

工事施工者となったのは、三菱・フジタ特定建設工事共同企業体で、2023年度から実施設計・解体工事に着手、建設工事は24年度末からの予定で、29年度の竣工、試運転をめざします。

解体工事においては、工事概要の中で、「工場棟の一部

を先行解体し、先行解体完了後、残りの工場棟部分を覆い、地上部及び地下部の解体を行う」(下記参照)としており、煙突などを解体した上で、地元住民が要望してきた全覆い仮設テントを設置し、工場本体の解体が行われる見通しです。住宅密集地に建つ工場であり、周辺には学校や保育園もあることから、解体工事に際しては、徹底した騒音・振動対策を求める必要があります。

3月15日の午後1時30分より、区議会区民生活委員会、清掃一組による北清掃工場建替工事説明会が行われ、さらに詳細な内容が明らかにされる予定です。(のの山けん)

12 解体計画	既存建築物(工場棟、飛灰処理設備棟、煙突、付属施設)を解体・撤去する。工場棟の一部を先行解体し、先行解体完了後、残りの工場棟部分を覆い、地上部及び地下部の解体を行う。
---------	---

総合評価の結果とともに示された「北清掃工場建替工事の概要」より

## 志茂地区補助86号線裁判 高裁が原告の訴えを棄却

# 最高裁での判断へ

3日、東京高裁で、特定整備路線補助86号線(志茂地区)の事業認可取り消しを求める控訴審の判決が言い渡され、原告住民の訴えは棄却されました。1審に続き、昭和21年決定当時の資料が存在しないのに、「決定された事実を推認できる」などと国を擁護する判決です。

住民側は直ちに上告の意向を決定。たたかいの舞台は最高裁へと移ります。(のの山けん)

